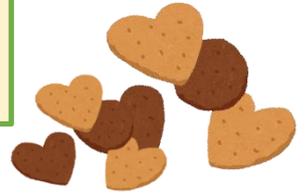




感染症週報



2026年(令和8年) 三宅管内感染症発生動向調査報告

第10週(3/2 ~ 3/8) 定点把握対象疾患について

三宅島 インフルエンザ : 2件

御蔵島 インフルエンザ : 7件

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)

東京都の注目される定点把握対象疾患 [東京都感染症週報 第9週]

流行警報発出中

- ・インフルエンザの定点当たりの報告数は、19.18で前週(33.41)より減少しています。

島しょの情報(11島の医療機関からの報告) [第10週(3/2 ~ 3/8)]

- ・インフルエンザの医療機関あたりの報告数は、5.73で前週(8.00)より減少しています。

NEWS 3月24日は「世界結核デー」です

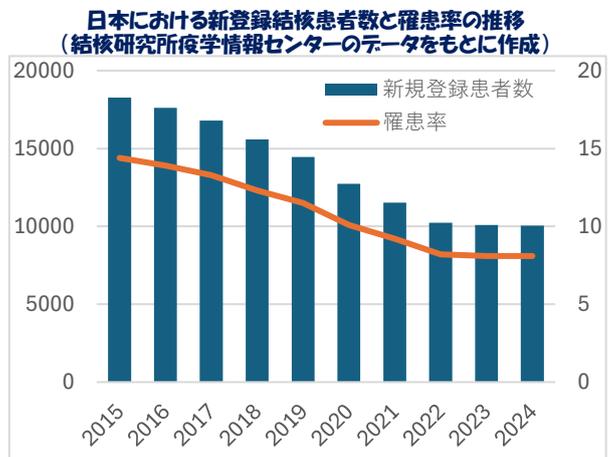
1882年3月24日は、ドイツの細菌学者ロベルト・コッホが結核菌を発見したことを公式に発表した日です。WHO(世界保健機関)は、結核対策強化の必要性を広く伝えるため、この日を「世界結核デー」に決めました。結核は、HIV感染症、マラリアと並び「世界三大感染症」の一つとされています。

WHOが公表した「世界結核報告書 2025年版」によると、結核は現在も、世界で最も致死率の高い感染症の一つで、昨年は120万人以上が亡くなり、推定1,070万人が新たに結核を発症した。診断・治療の分野では一定の成果が見られるものの、結核対策に必要な資金は不十分で、年間220億米ドルとされる目標額に対して実際はその4分の1強にとどまり、これまで積み重ねてきた結核対策の成果が後退する恐れがある、と指摘しています。

日本では、2024年の新登録結核患者数が10,051人、死亡者数が1,462人、結核罹患率(人口10万人対)が8.1でした。WHOの定義する結核低まん延国の基準である罹患率10.0以下を維持していますが、欧米と比べるとまだ高い水準です。

世界的に、日本は結核低まん延国に分類されていますが、年間1万人以上の新規結核患者が発生し、約1,500人が結核で命を落としている「まだまだ身近な感染症」です。

新規結核患者を年齢階級別で見ると、60歳以上の高齢者が68%を占めており、また、20-29歳が12.8%を占め、そのうちの90%が外国生まれの若年者という特徴があります。



参考:世界結核報告書 2025年版(世界保健機関)、結核 2026(東京都保健医療局)、結核年報の概要(結核研究所疫学情報センター)

(編集・発行) 東京都島しょ保健所 三宅出張所
電話 04994-2-0181 FAX 04994-2-1009
<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/miyake/>



結核年報の概要(結核研究所疫学情報センター)



島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

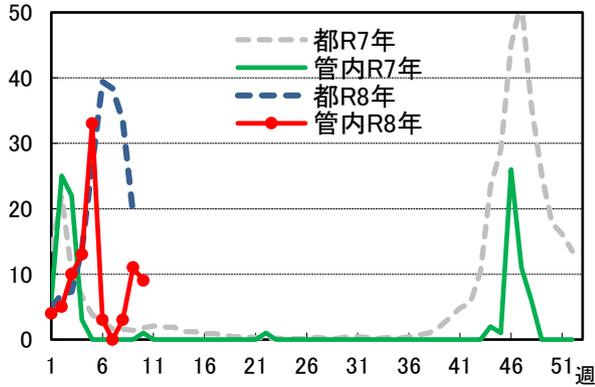
三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

疾病名 (小児科定点及びインフルエンザ /COVID-19定点)	令和8(2026)年						令和8 (2026)年 累計	東京都 定点あたり 9週
	5週	6週	7週	8週	9週	10週		
RSウイルス感染症							0 (0)	0.19
咽頭結膜熱							0 (0)	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				1 (0)			1 (0)	1.18
感染性胃腸炎		3 (3)		2 (2)	6 (1)		11 (6)	7.68
水痘							0 (0)	0.29
手足口病							0 (0)	0.04
伝染性紅斑							0 (0)	0.02
突発性発しん							0 (0)	0.17
ヘルパンギーナ							0 (0)	0.00
流行性耳下腺炎							0 (0)	0.02
MCLS(川崎病)							0 (0)	0.02
不明発しん症							0 (0)	0.03
インフルエンザ	33 (0)	3 (0)		3 (3)	11 (11)	9 (7)	91 (21)	19.18
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)			1 (0)				5 (4)	0.89

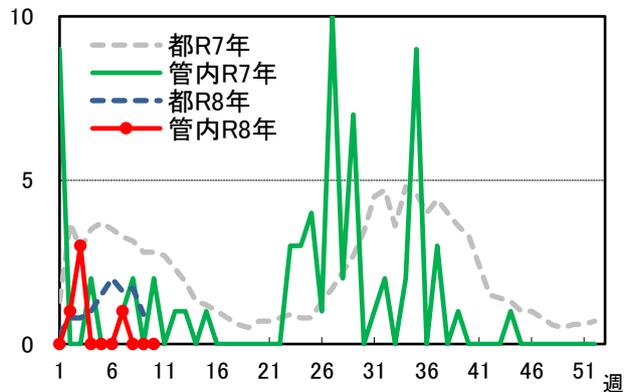
※カッコ内:御蔵島報告数の再掲

【三宅管内】患者報告数推移グラフ(管内とは三宅・御蔵両島の発生数計都は定点あたり発生数)

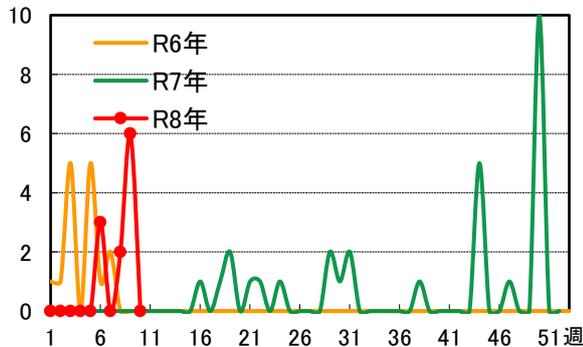
■ インフルエンザ



■ 新型コロナウイルス感染症



■ 感染性胃腸炎



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。